

報道関係各位

2022 年 1 月 17 日

アクティオの「レンサルティング」を見て・触れて・体感できるショールーム

AKTIO Rensulting Studio オープン

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO: 小沼直人、以下アクティオ)は、「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語「レンサルティング」のコンセプトのもと、建設業界において、レンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスを実践してきました。

このたび、アクティオが掲げる「レンサルティング」に、見て・触れて・体感でき、アクティオ史上初となるショールーム「AKTIO Rensulting Studio」を、2022 年 1 月 18 日(火)にオープンいたします。



- ショールーム名 : AKTIO Rensulting Studio/アクティオレンサルティングスタジオ
- 場 所 : アクティオ本社 1F(東京都中央区日本橋 3-12-2 朝日ビルディング 1F)
- オープン日 : 2022 年 1 月 18 日(火)
- 一般からの問い合わせ先: koho@aktio.co.jp

※「AKTIO Rensulting Studio」は、完全予約制となります。

【アクティオ公式サイト】<https://www.aktio.co.jp/>

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

【画像素材 DL リンク】<https://www.pr-today.net/a00294> パスワード:aktio

■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ 広報部 担当:成澤、松本

TEL:03-6262-7867 FAX:03-6854-1436 e-mail:koho@aktio.co.jp

「AKTIO Rensulting Studio」Profile

■5つのエリアからなる「AKTIO Rensulting Studio」

【エントランス】

アクティオの事業展開を表現したジオラマと、その上に浮かび上がる三次元映像のホログラムを設置しました。



【プレゼンテーションゾーン】

8 台のタッチパネル式モニターを設置し、インタラクティブ映像が楽しめます。アクティオの創業からの歩みや取り組み、レンサルティング事例など、豊富なコンテンツ映像からご覧いただけます。



【シアターゾーン】

建設機械の模型「レンサルティングオブジェ」を、映像スイッチ用の台座中央に設置された、カプセルにセットすると、それぞれの「レンサルティングオブジェ」に関連した映像が大画面に映し出されます。アクティオが、これまで培ってきた、さまざまなレンサルティングの実例を映像で視聴することができます。



【体験ゾーン】

VR 工場見学

アクティオ製品の配送拠点として、最新の設備と高度な情報システムが整う「東京 DL センター」や、建設機械の整備や研究開発、また、災害時の防災製品提供の拠点の場として活躍する全国に展開しているテクノパークを、VR 映像モニターや VR ゴーグルで紹介します。210 度の VR 映像により、現地に居るかのような臨場感を体験できます。

安全教育 VR(Safety Training System VR of AKTIO)

アクティオが開発した、高画質 5K 解像度のスーパーリアル映像で現場の不安全(危険)行動から事故までを VR で疑似体験できる安全教育システムです。歩行型 VR デバイスを用い、実際に体を動かしながら臨場感と没入感あふれる VR 体験ができます。

シナリオは、高所作業車編、バックホー編、高速道路安全教育編、3 つの映像コンテンツの体験が可能です。



【レクチャールーム】

ワークショップやセミナーを行う、学びと情報発信のスペースとして活用でき、オンライン配信スタジオとしての機能も備えています。



■日本初のショールームライティング

遠藤照明の「コントロールできる照明：次世代調光調色シリーズ『Synca』」の技術を企業ショールームとして日本初採用しました。用途シーンに合わせた光環境で、さまざまな光の空間を演出します。

遠藤照明とは：光のプロフェッショナルとして、LED 照明のパイオニアとして。独自の製品開発から最適な光環境の提案まで、「人」と「光」の新しい関係を創造している企業



■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』（算数とハートの経営 2014 年 幻冬舎）。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専

門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。